

計画の基本的な考え方

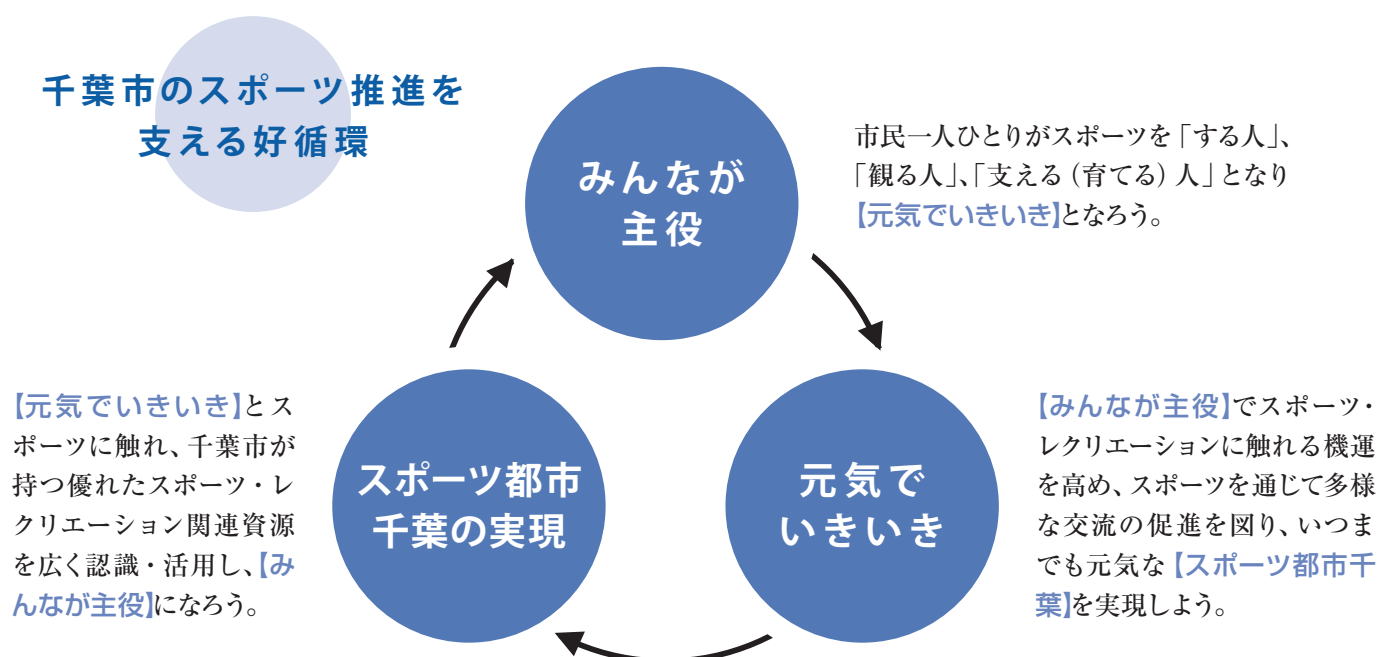
1 基本理念（今後10年間を見通したスポーツの推進）

みんなが主役、元気でいきいき、スポーツ都市千葉の実現 ～ スポーツ・レクリエーションを通じて新たな自分を発見しよう ～

本市は、人口97万人を有し、首都圏の一翼を担う大都市でありながら、温暖な気候、豊かな緑と水辺など、スポーツに適した自然環境を持ち、プロ野球「千葉ロッテマリーンズ」とサッカーJリーグ「ジェフユナイテッド市原・千葉」の本拠地でもあります。本市では、こうした恵まれた都市環境を活かして、スポーツ・レクリエーションの推進や市民の健康・体力づくりを促進するための各種施策を積極的に展開してきました。

一方で、スポーツ活動を「する」、「観る」、「支える・ふれあう」人は減少傾向にあり、これまで以上に各種施策を積極的に展開していくだけでなく、一つ一つの施策が関連性を持って、相乗効果を生み出すことが重要です。

これらを踏まえ、本計画の基本理念（めざすべき姿）を、「みんなが主役、元気でいきいき、スポーツ都市千葉の実現～スポーツ・レクリエーションを通じて新たな自分を発見しよう～」とし、それぞれが関連性を持って、千葉市のスポーツ推進を支える好循環になるよう定めます。



2 基本方針と基本目標

本計画の基本理念である「みんなが主役、元気でいきいき、スポーツ都市千葉の実現～スポーツ・レクリエーションを通じて新たな自分を発見しよう～」の実現にあたり、主役である市民の誰もがわかりやすいよう、今後10年間を見通した事業の基本方針と基本目標を次のとおり定めます。

基本方針Ⅰ ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーションの推進

基本目標 スポーツを「する人」を増やそう

誰もが、それぞれの体力や年齢、障害の有無に関わらず、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができるよう、ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーションの推進を通じて、スポーツを「する人」を増やします。

基本方針Ⅱ トップスポーツの推進

基本目標 スポーツを「観る人」を増やそう

本市は、ホームタウンの「千葉ロッテマリーンズ」・「ジェフユナイテッド市原・千葉」をはじめとし、多くのトップスポーツチーム・選手が活躍しています。また、2020年には東京オリンピック・パラリンピックの7競技が本市で開催されます。こうした試合や大会を観戦することは、スポーツへの親しみや、自らがスポーツを行うきっかけとなることも期待できるため、トップスポーツの推進を通じて、スポーツを「観る人」を増やします。

基本方針Ⅲ スポーツ・レクリエーションを支える体制の整備

基本目標 スポーツを「支える（育てる）人」を増やそう

ライフスタイルや価値観の変化に伴い、多様化する市民のスポーツニーズに対応するため、スポーツ・レクリエーションを支える体制の整備を通じて、スポーツを「支える（育てる）人」を増やします。

基本方針Ⅳ スポーツ・レクリエーションによる多様な交流の推進

基本目標 スポーツに「ふれあう人」を増やそう

スポーツを通じた交流は、地域の一体感や活力の醸成、人間関係の希薄化などを抱える地域社会の再生につながります。また、スポーツの国際交流は、世界の人々との相互理解を促進し、国際的な友好や親善に貢献することになります。このため、スポーツ・レクリエーションによる多様な交流の推進を通じて、スポーツに「ふれあう」人を増やします。

3 数値目標

目標をより明確にするため「する・観る」について具体的な数値目標を定めます。

なお、具体的な取り組み事業は今後5年間を目標としているため、数値目標の目標年次も5年後の平成32年度とします。

数値目標 1

1週間に1回以上スポーツ・レクリエーションを行う成人の割合を50%以上にする。

数値目標 2

年1回以上スポーツを実際に観戦する成人の割合を50%以上にする。

